

東京都KB野球大会（第5回関東AA中学生野球大会 東京予選）大会要項

1. 日程

【予選リーグ】

11月3日 ～ 12月30日

【決勝トーナメント】

1月中旬 決勝トーナメント代表者会議（抽選会）

1月下旬 ～ 3月中旬 トーナメント大会

2. 大会運営

大会は予選リーグと決勝トーナメントの2ラウンド制とする。

■ 予選リーグ

(1) ブロックについて

- ① 1ブロック4チームの総当り戦で予選リーグを実施する。
- ② 各ブロックは12月30日までに代表2チームを選出しなければならない。
- ③ 各ブロックのブロック長は理事が努める。
- ④ ブロック長は公正・円滑にリーグ戦を実施する責務を有す。
(対戦カード、日程、グラウンド、審判などの調整を行う)
- ⑤ 参加チームはブロック長に協力、誠実にリーグ戦に参加する義務を有す。
(成績に拘わらず、全対戦を誠実に行う)

(2) 決勝トーナメント進出チーム選出について

- ① 各ブロック上位2チームが決勝トーナメント進出する権利を獲得する。
- ② 上位2チームから決勝トーナメント辞退が出た場合、次位が出場する。
(辞退チームの指名、推薦は認めない)
- ③ ブロックの順位は勝ち点制を採用して、決定する。
 1. 通常の勝利 : 勝ち点 3
 2. サドンデスの勝利 : 勝ち点 2
 3. サドンデスの敗戦 : 勝ち点 1
 4. 通常の敗戦 : 勝ち点 0
- ④ ブロックの順位は下記の優先順で決定する。
 1. 勝ち点の多いチーム
 2. 総失点の少ないチーム (サドンデス回の失点含まず)
 3. 総得点の多いチーム (サドンデス回の得点含まず)
 4. 総失点の少ないチーム (サドンデス回の失点含む)
 5. 総得点の多いチーム (サドンデス回の得点含む)
 6. 上記5まで全て同点の場合は当該チーム同士のリーグ戦勝敗

- ⑤万一、12月30日迄にリーグ戦を終了していないブロックは決勝トーナメントへの進出チームの選出を放棄したものとみなす
但し、対戦全カードを終了した成績上位のチームに関しては別途運営部で判定し、三役会議の承認を得る

(3) 試合について

- ①試合は90分、7回戦とする。(所謂「勝ち逃げ」方式は認めない)
②同点の場合は特別ルールにより決着をつける。(サドンデス)
③勝敗が決するまで、特別方式を継続して行う。
③特別ルールは1死満塁、継続打順で行う。
④審判は当該チームの出し合いとする。(審判服又は準ずる服装着用)
審判を出せないチームはブロック長に連絡し、手配を依頼すること(有料)
⑤グラウンド代有料の場合は当該チームの折半とする。
⑥ボールは当該チームの出し合いとする。
⑦試合当日のベンチ入り選手は10名以上18名以下とする。
⑧試合時にベンチ入り選手が10名未満の場合は、不戦敗とする。
⑨試合時に登録済の監督・コーチが一人も不在の場合は、不戦敗とする。
⑩ベンチ入りできるスタッフは監督・コーチ(2名)、引率責任者、マネージャー、スコアラーの最大6名までとする。
⑪監督・コーチは必ず背番号の付いたユニフォーム着用、他のスタッフはユニフォーム以外のふさわしい服装をすること。
⑫背番号は監督(30)、コーチ(29、28)とする。
⑬相手チームに対する野次は厳禁する。(応援団の野次も同様)
審判の注意にも拘らず改めない選手には審判が退場を命じることができる。
⑭その他、東京都軟式野球連盟試合要項、及び日本KB少年野球連盟試合要項に準じて実施する。

(4) 登録、その他

- ⑥1チームは選手10名以上の登録が必要(上限なし)
⑦選手の背番号の重複は認めない。
⑧大会中の選手の追加登録はブロック長に書面にて申し出ること
⑨試合当日の日程変更要請は認めない。当日のキャンセルは不戦敗とする。
但し、試合時間変更は相手チーム、及びブロック長が了承すれば認める。
⑩ブロック長、及び運営部の度重なる要請にも拘わらず、試合実施に協力戴けないチームは棄権とみなし、リーグ戦の全成績を抹消する。